MITSUBISHI

0211872HE2803

VAVユニット

形　名

P-361VAX-DW[1]・(-DB[1])〔天井・壁用〕

取付工事・取扱説明書

このVAVユニットは、空調ユニットからダクト配管し空調ユニットと連動して通風路の開閉を自動制御し、室内の空調を行うものです。

■取付工事を始める前に説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

■取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

分解禁止

●改造や必要以上の分解はしない
（火災・感電・けがの原因になります）

指示に従い必ず行う

●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
（感電やけがをすることがあります）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●交流 100V を使用する
（直流や交流 200V を使用すると火災や感電の原因になります）

指示に従い必ず行う

●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
（落下によりけがをする恐れがあります）

●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
（接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります）

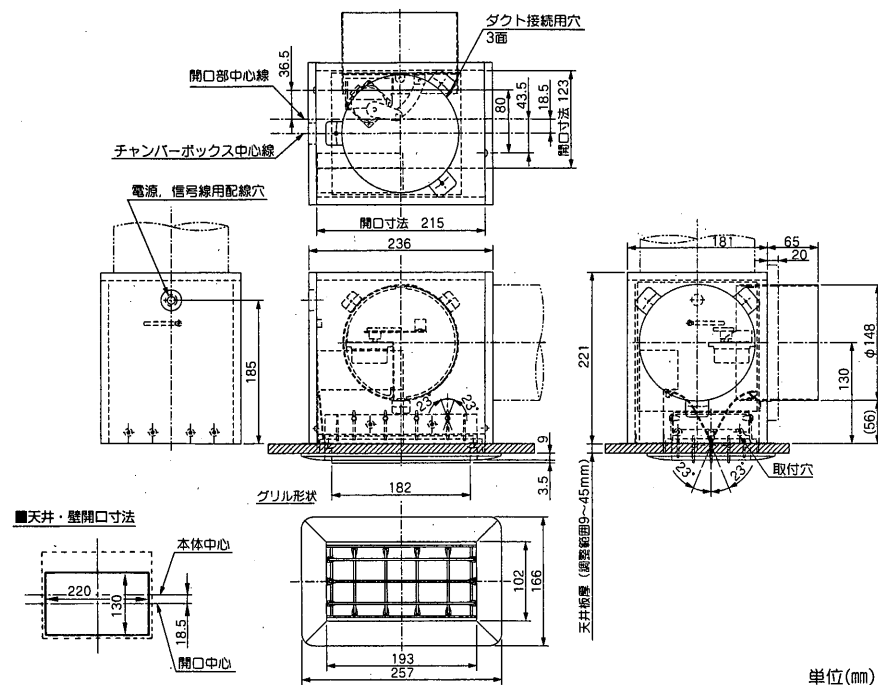
●取付けやお手入れの際は手袋を着用する
（着用しないとけがをすることがあります）

取付け前のお願い

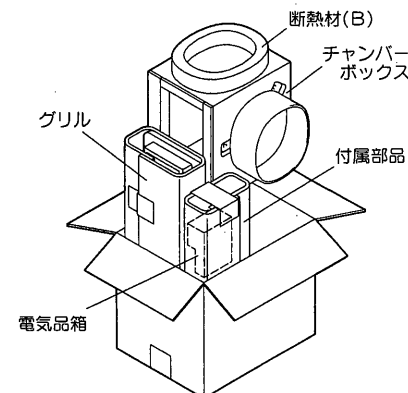
お願い

取付けできる天井板、壁板の厚みは、9㎜～45㎜以下となっています。
それ以外の板厚では取付けないでください。
（グリルが取付けられなくなります）

外形寸法図

開梱

付属部品

断熱材（A）・・・・・・・・・・ 9個 〈ダクト取付穴用〉	野縁固定ネジ・・・・・・・・ 4本
断熱材（C）・・・・・・・・・・ 1個 〈配線用〉	電気品箱固定ネジ・・・・ 1本
断熱材（B）・・・・・・・・・・ 1個 〈ダクト接続口用〉	

※吊り金具（M45255691）・吊り金具取付ネジ（M00000024）・ネジ頭断熱材（M45255687）はサービス部品です。吊りボルトを使用して取付ける場合は本体とは別に購入してください。

●グリル・電気品箱は本体取付後に取付けますので保管してください。

取付方法

取付方法には野縁取付け(天井取付け)と吊りボルトを使用する方法(天井・壁取付け)があります。取付場所に応じて選択します。

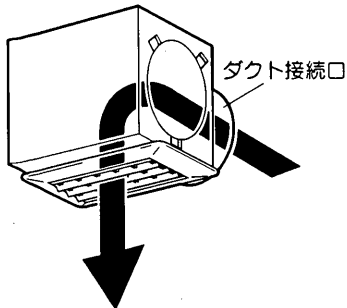
配管方向も巾面側・側面側・上面側から選択できます。

●吊りボルトを使用して取付ける場合は、サービス部品の吊り金具(M45255691)・吊り金具取付ネジ(M00000024)・ネジ頭断熱材(M45255687)各1個が必要です。本体とは別に購入してください。

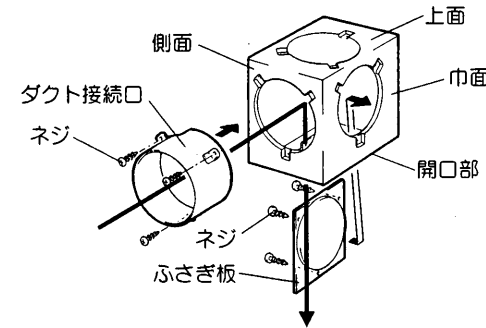
1. ダクト接続口の付け換え

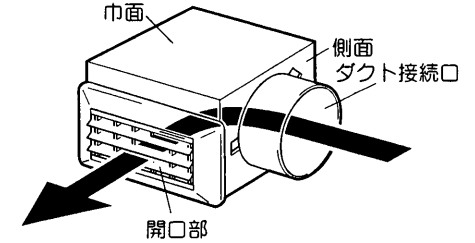
チャンバーボックスのダクト接続口は外側から着脱します。ふさぎ板は内側から着脱します。どちらも取付け時、モーターの配線をはさみ込まないようにしてください。

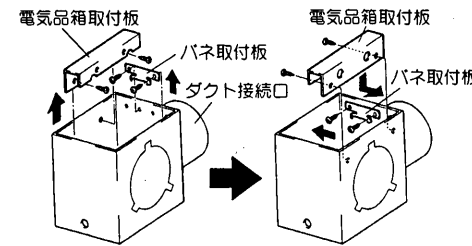
〔ダクト接続口とふさぎ板のネジは長さが違いますので間違えないでください〕

天井取付け・巾面配管の場合

工事出荷状態のままで取付け可能です。

ダクト接続口の付換えの必要はありません。

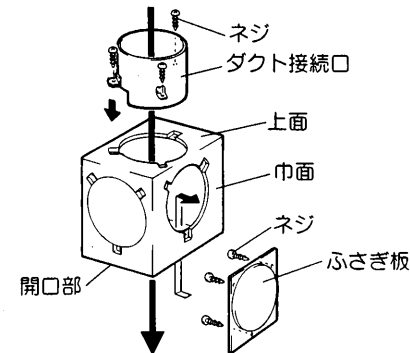
天井取付け・側面配管の場合

壁取付け・側面配管の場合

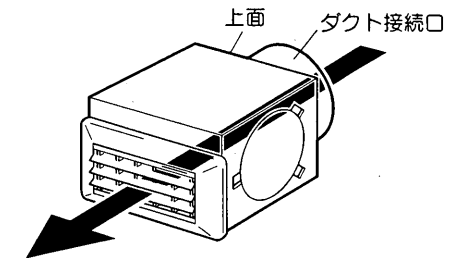
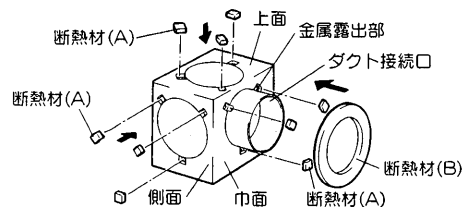
1. 巾面からダクト接続口のネジ3本をはずして取りはずす。
2. 側面のふさぎ板を内側からネジ3本をはずして取りはずす。
3. 巾面にふさぎ板を内側から取付ける。
4. 側面にダクト接続口を取付ける。

壁面に複数台取付ける場合 ※側面配管のみ

2台以上並べて取付けるとき、グリル位置を揃える場合は下記に従ってください。

1. 電気品箱取付板のネジ2本をはずして取りはずす。
2. バネ取付板(2か所)のネジ2本をはずして取りはずす。
3. 電気品箱取付板を反対側の面に取付ける。
4. バネ取付板(2か所)を取付ける。

お願い

●電気品箱取付位置の入換えは、側面取付け時のみ可能です。それ以外の配管時には行わないでください。ダンパーの動作不良となります。

天井取付け・上面配管の場合

壁取付け・上面配管の場合

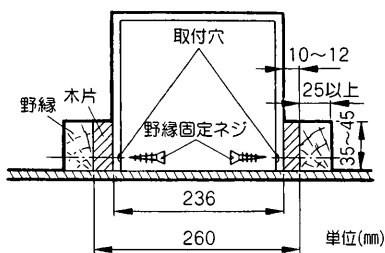
1. 巾面からダクト接続口のネジ3本をはずして取りはずす。
2. 上面のふさぎ板を内側からネジ3本をはずして取りはずす。
3. 巾面にふさぎ板を内側から取付ける。
4. 上面にダクト接続口を取付ける。

2. 断熱材の貼り付け

1. 付属の断熱材(A)を上面・巾面・側面の９か所の金属露出部に貼り付ける。
2. 付属の断熱材(B)をダクト接続口に貼り付ける。

お願い

● 断熱材はすき間がないよう確実に密着させて貼り付けてください。

3. チャンバーボックスの取付け

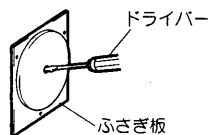
天井取付け(吊りボルト・野縁)と壁取付け(吊りボルト)により異なります。

野縁固定の場合

1. 左図の寸法で野縁を組む。
2. 野縁の内側に左図の寸法の木片(コンパネ等)を市販の木ネジで取付ける。(野縁の補強)
3. チャンバーボックス内側の取付穴(４か所)から付属の野縁固定ネジ(４本)を締め付け、チャンバーボックスを固定する。

お願い

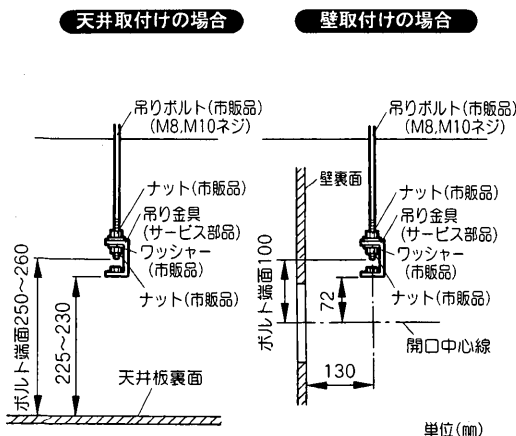
● チャンバーボックスに傾き・変形がないように取付けてください。

吊りボルト固定の場合

1

吊りボルトで固定する面のふさぎ板の断熱材中央に、ドライバー等でネジが通る穴をあける。

2

天井取付けの場合 / 壁取付けの場合

吊りボルト(市販品)(M8,M10ネジ)
ナット(市販品)
吊り金具(サービス部品)
ワッシャー(市販品)
ナット(市販品)
ボルト端面250～260
225～230
天井板裏面
壁裏面
ボルト端面100
72
開口中心線
130
単位(㎜)

天井取付けの場合

1. 外形寸法図を参照し、チャンバーボックス中心に吊りボルトがくるよう吊りボルトを吊るす。
2. 吊り金具(サービス部品)を吊りボルトに通し、市販のワッシャー・ナットで固定する。

● 吊り金具下面が天井板裏面から 225～230 ㎜の位置にくるようにしてください。

壁取付けの場合

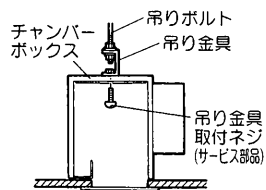
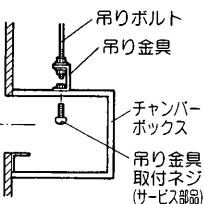
1. 左図の位置に吊りボルトを吊るす。
2. 吊り金具(サービス部品)を吊りボルトに通し、市販のワッシャー・ナットで固定する。

● 吊り金具下面が壁の開口中心から 72 ㎜の位置にくるようにしてください。

取付方法 つづき

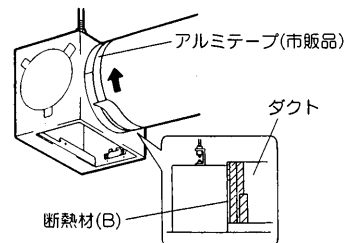
3

天井取付けの場合 / 壁取付けの場合

吊りボルト
吊り金具
チャンバーボックス
吊り金具取付ネジ(サービス部品)

チャンバーボックス内側から中央の穴と吊り金具の穴を合わせ、吊り金具取付ネジ(サービス部品)を差し込み固定する。

お願い

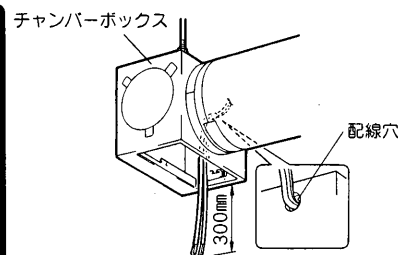
● 吊り金具取付ネジは締め過ぎないでください。(断熱材が軽くつぶれる程度締め付ける)

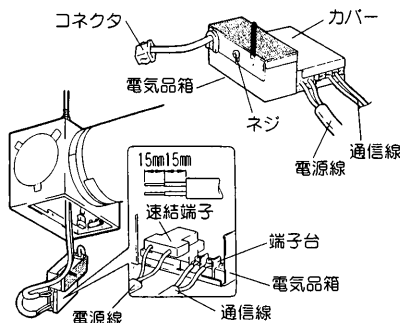
4. ダクト工事

1. ダクトの内側と端面に市販の接着剤(木工ボンド等)を塗り、ダクト接続口に差し込む。
   ● ダクトの端面が断熱材(B)に当たるまで確実に差し込む。
2. ダクトと断熱材(B)の合わせ部全周を市販のアルミテープで風もれのないようテーピングする。

5. 電気工事

分電盤のブレーカーが「切」であることを確認して電気工事を行う。

使用する電線：電源線(VVF φ1.6、φ2.0)、通信線(キャブタイヤケーブル２芯 0.75㎟)

1

チャンバーボックス側面上部にある配線穴から電源線・通信線(ルームコントローラからの)を引き込み、開口部から約 300 ㎜引き出す。

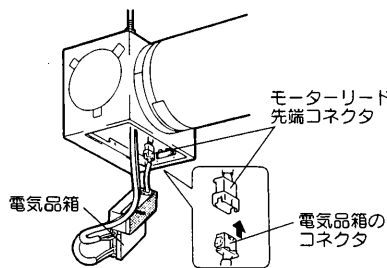
2

1. 電気品箱のネジをゆるめ、カバーをはずす。
2. 電源線をプラスチックの切り込みに通し速結端子に確実に差し込む。
3. 通信線をプラスチックの切り込みに通し端子台に確実に接続する。

お願い

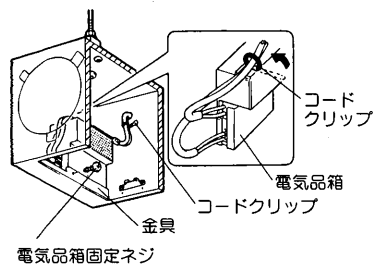
● 電源線・通信線の皮むきは左図のようにしてください。

4. 電気品箱にカバーを元通りかぶせてネジで固定する。

3

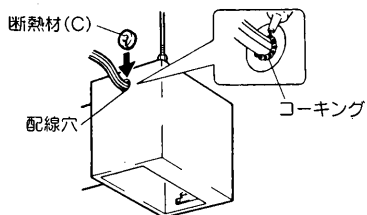
モーターリード線先端コネクタ
電気品箱
電気品箱のコネクタ

モーターから出ているモーターリード線先端についているコネクタと電気品箱から出ているコネクタを接続する。

4

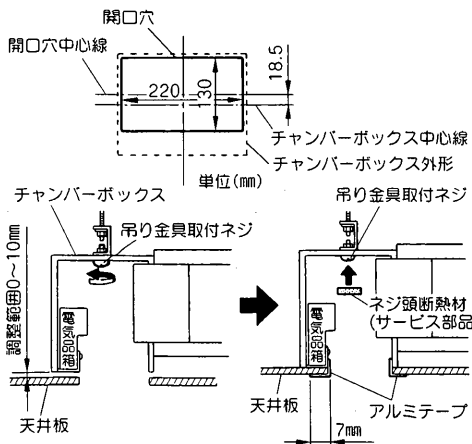
※下図は説明のため巾面・ダクトを省略してあります。

1．電気品箱を、チャンバーボックスの金具内側に図のように電気品箱固定ネジ１本で取付ける。
2．電気品箱上面のコードクリップで、電源線・通信線・モーターリード線を束ねる。
3．チャンバーボックス内でコードがたるまないよう外へ押し出し、チャンバーボックス内壁面に密着させてボックス側のコードクリップで固定する。

お願い

●ダンパー動作時に、リード線をはさみ込まないことを確認してください。

5

断熱材(C)
配線穴
コーキング

1．付属の断熱材(C)をチャンバーボックス外側の配線穴に貼り付ける。
2．コードが通っているすき間を市販のコーキング材で埋める。

6．天井板（壁板）の穴あけ

1．天井板(壁板)張り付け後、チャンバーボックス内寸に合わせ左図のような開口穴を設ける。

お願い

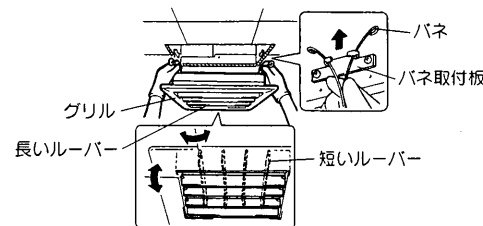
●チャンバーボックスと開口穴は中心が18.5mmずれています。間違いのないようにあけてください。

2．天井板裏面とチャンバーボックスにすき間がある場合は、吊り金具取付ネジをゆるめてチャンバーボックスを下げて天井板と密着させる。
3．吊り金具取付ネジにネジ頭断熱材(サービス部品)を貼り付ける。
(貼り忘れると結露することがあります)
4．開口穴全周に市販のアルミテープをすき間のないよう貼り付ける。(L形に貼る)

お願い

●アルミテープは天井板（壁板）表面に７mm以上出さないでください。

取付方法 つづき

7．グリルの取付け

1．グリルバネ部のパッドを取りはずす。
2．２つのバネを両手でにぎって、バネ取付板の長穴に差し込む。
3．手を放してグリルを天井板または壁板に軽く押して密着させる。
4．長いルーバー・短いルーバーをお好みの風方向に合わせる。
●ルーバーは１枚ずつ同じ方向に向けてください。

工場出荷時：天井板・壁板厚み９mmを越え15mmまでの場合

バネ取付板の調整

グリルを取付ける際に、天井板（壁板）の厚さによりバネ取付板の調整が必要です。

15mmを越え25mmまでの場合	25mmを越え35mmまでの場合	35mmを越え45mmまでの場合
1．ネジ２本をはずして、バネ取付板をはずす。 2．下側取付穴にバネ取付板を付け換える。	1．ネジ２本をはずして、バネ取付板をはずす。 2．バネ取付板を上・下逆にして元の位置（上側取付穴）に取付ける。	1．ネジ２本をはずして、バネ取付板をはずす。 2．バネ取付板を上・下逆にして下側取付穴に取付ける。

お手入れのしかた

グリルにほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。
約２か月に１度を目安にしてグリルの清掃をしてください。

お願い

●お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等のけんま材入りの洗剤
（変質したり、塗装がはげたりする原因となります）

■グリル・ルーバーに付着したほこりやごみを掃除機で吸い取る。汚れがひどい場合はグリルをはずして中性洗剤を入れたぬるま湯に浸して汚れを落とし、洗剤が残らないよう水洗いし、水気を拭き取る。

メモ

空調ユニットの運転状態によっては、グリル表面に水滴がつく（結露）ことがあります。結露した場合はグリル表面の水滴を拭き取ってください。

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508-8666　岐阜県中津川市駒場町１番３号　電話 0573-66-2111